

ジブチ政治・経済月例報告
(2020年6月)

令和2年7月
在ジブチ日本国大使館

1 新型コロナウイルスを巡る状況

●国内措置

6月15日より規制が緩和されレストラン等が再開し、6月30日よりホテルや文化・スポーツ施設等が再開された

国際旅客便（一部の臨時便を除く）やジブチ・エチオピア間の鉄道の運行停止は継続。

●保健当局の対応

6月以降、国内におけるウイルス感染の拡大が比較的弱まっており、保健省は外からのウイルスの侵入に備え、国境等での警戒を強めている。

6月30日までの累計検査数は46,500件、感染確認者4,682名、うち治癒4,524名、死亡者54名。

2 国内のその他取り組み

●低所得世帯への電気料金減免

6/3 エネルギー省は、新型コロナウイルスで被害を受けた貧困層に対する電気料金減免措置として、家庭用契約の94%に相当する約5万4000件に対し、3万ジブチフラン／契約の電気料金の減免を決定。

●電気料金引き下げ

6/23 エネルギー省は、家庭用電気料金の引き下げを発表した。

【例】3KVAの世帯が1607KWh消費した場合

※FD：当地通貨ジブチフラン

| | 第一段階 | | | 第二段階 | | | 合計 (FD) |
|-----|--------------|------------|------------|-----------------|------------|------------|------------|
| | 使用量 (KWh) | 単価 (FD) | 小計 (FD) | 超過分使用量 (KWh) | 単価 (FD) | 小計 (FD) | |
| 変更前 | 400 | 40 | 16000 | 1207 | 55 | 66385 | 82385 |
| 変更後 | 600 | 35 | 21000 | 1007 | 50 | 50350 | 71350 |

料金変更後の差額 11035

引き下げ率(%) 13.4

●政府系投資ファンド設立

6/24 政府系投資ファンド (Fonds souverain de Djibouti) に関する政令が公布され、それに基づきファンドの設立が発表された。同ファンドは、公的余剰資金のより適切な管理及び将来に向けた貯蓄を通じ、収益性の高いプロジェクトへの投資やジブチの開発に資する事業に対する国内外の投資家との共同投資に活用される予定。

3 経済・国際協力

●フランスによるビジネス支援

6/8 在ジブチ・フランス大使館は、ジブチ商工会議所と国際貿易関係者の能力強化プロジェクト（総額25万ユーロ）に関する合意署名を実施した。

●国際原子力機関（IAEA）による医療機材供与

6/9 IAEAによるジブチ市内のブファール病院向け新型コロナウイルス検査機材が到着した。同支援には、米国も500万米ドルを拠出している。

●中国による衛生物資供与

6/11 中国は、これまで複数回に渡りジブチへ輸送してきたマスクや消毒液等の衛生物資の一部を、当地メディア La Nation に供与した。

●EUによるアフリカの角地域支援

6/17 EUはIGADに対し、アフリカの角地域における新型コロナウイルス対策として6,000万ユーロ相当の支援実施を発表した。

●フランスによる教育支援

6/15 在ジブチ・フランス大使館とジブチ国民教育省は、新型コロナウイルスに鑑みた遠隔授業等の教育支援として3,655万ジブチフラン（約20万6,000米ドル）の支援資金に関する合意文書に署名した。

●モロッコによる支援

6/22 モロッコは新型コロナウイルス対策支援として、マスクや消毒液等の衛生物資をジブチへ供与した。

4 政治・国際関係

●ソマリア及びソマリランドのトップ会合

6/14 ソマリアとソマリランド間の紛争解決を目的に、アブドゥライ・モハメド・モハメド・ソマリア大統領及びムセ・ビヒ・アブディ・ソマリランド「大統領」によるトップ会合がジブチにて開催された。同会合は、ゲレ大統領が主催し、アビィ・

エチオピア首相， I G A D 等， 両地域の紛争解決にコミットしている主要アクターが参加した。

●国連安保理非常任理事国選挙

6/17 アフリカ枠にジブチ及びケニアが立候補をしていた国連安保理非常任理事国選挙が実施された。18日の第二回投票を経て，ケニアの当選が決定。

●ジブチ独立記念日

6/27 ジブチは1977年の独立から43周年を迎え，ゲレ大統領は各国の首脳より祝辞を受領した。

以上